

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社FPG

コード番号 7148 URL <http://www.fpg.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷村 尚永

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 久保出 健二

TEL 03-5288-5691

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	4,797	68.5	2,736	85.2	2,498	84.2	1,519	85.9
25年9月期第3四半期	2,847	—	1,477	—	1,356	—	817	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 1,531百万円 (86.8%) 25年9月期第3四半期 819百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	57.82	57.03
25年9月期第3四半期	32.22	31.25

(注1) 平成25年9月期第2四半期より、四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年9月期第3四半期の増減率は記載しておりません。

(注2) 平成25年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。上記の1株当たり情報は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	21,572	10,077	46.7
25年9月期	20,240	4,489	22.2

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 10,077百万円 25年9月期 4,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	5.00	—	14.67	19.67
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	20.50	20.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注1) 平成25年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。上記の1株当たり配当金のうち、平成25年9月期の第2四半期末は、当該株式分割前の金額であり、平成25年9月期の期末及び平成26年9月期の期末は当該株式分割後の金額であります。

参考情報として、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり配当金は以下のとおりであります。

平成25年9月期 第2四半期末 1円67銭 期末 14円67銭 合計 16円34銭

平成26年9月期 第2四半期末 0円00銭 期末 20円50銭 合計 20円50銭

(注2) 平成25年9月期の第2四半期末配当金5円00銭は、東京証券取引所市場第一部上場に関する記念配当であります。

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,653	40.9	3,022	45.0	2,778	41.6	1,700	43.4	61.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	31,253,200 株	25年9月期	26,017,200 株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	2,151 株	25年9月期	2,106 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	26,285,471 株	25年9月期3Q	25,372,428 株

(注) 当社は、平成25年6月1日付けで普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。各株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料8ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

平成26年 9 月期 第 3 四半期 決算概要	2
1. 当四半期決算に関する定性的情報	3
(1) 経営成績に関する説明	3
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	9
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	9
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	9
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	9
3. 四半期連結財務諸表	10
(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13

平成26年9月期 第3四半期 決算概要

当社は、平成26年6月に公募増資及び第三者割当増資を実施し、4,437百万円の払込みを頂きました。今後、本増資による財務基盤の強化を最大限活用し、資金調達能力の拡大を加速したうえで、タックス・リース・アレンジメント事業におけるオペレーティング・リース事業の組成金額の拡大及び不動産関連事業における案件組成の拡大を通じて、当社グループの業績拡大を図ってまいります。

損益の状況

- リース事業組成金額は、880億円、出資金販売額は、299億円となり、タックス・リース・アレンジメント事業における売上高は、4,326百万円となりました。また、前第4四半期から開始した新規事業の貢献等により、その他事業の売上高は、471百万円となりました。
- 売上高の増加が、先行投資を含めた、業容拡大に伴う費用負担の増加を吸収した結果、各損益も増加いたしました。
- 第3四半期連結累計期間の実績は、旺盛な投資家の需要に応えるべく、第4四半期連結会計期間に販売予定であった出資金を前倒して販売したこと等から、通期の予想と比べ、その進捗率が高くなっております。

	平成25年9月期 第3四半期 連結累計期間	平成26年9月期 第3四半期 連結累計期間	増減額	平成26年9月期 連結会計年度 (予想)
	売上高	2,847	4,797	+ 1,949
(タックス・リース・ アレンジメント事業)	2,690	4,326	+ 1,635	
(その他)	157	471	+ 313	
売上原価	446	668	+ 222	
販売費一般管理費	924	1,392	+ 467	
(人件費)	497	652	+ 155	
(地代家賃)	81	245	+ 163	
営業利益	1,477	2,736	+ 1,259	3,022
経常利益	1,356	2,498	+ 1,141	2,778
四半期(当期)純利益	817	1,519	+ 702	1,700
リース事業組成金額	46,689	88,026	+41,337	158,610
出資金販売額	18,348	29,994	+11,646	34,864

(単位：百万円)

財政状態の状況

	平成25年 9月末	平成26年 6月末	増減額
	資産合計	20,240	21,572
流動資産	19,185	19,871	+ 686
(現金及び預金)	3,840	3,911	+ 71
(商品出資金)	13,436	11,237	▲ 2,198
(組成用不動産)	1,208	2,614	+ 1,406
(その他)	700	2,107	+ 1,407
固定資産	1,055	1,700	+ 645
負債合計	15,751	11,495	▲ 4,255
流動負債	15,355	10,062	▲ 5,293
(借入金・社債)	12,306	6,197	▲ 6,108
(前受金)	1,838	1,706	▲ 131
(その他)	1,210	2,157	+ 947
固定負債	395	1,433	+ 1,037
(借入金・社債)	330	1,270	+ 940
(その他)	65	163	+ 97
純資産合計	4,489	10,077	+ 5,587
コミットメントライン等 の資金調達枠	21,950	40,500	+18,550

(単位：百万円)

資産合計

積極的な組成を行った一方で、販売が進んだことから、商品出資金が減少し、112億円となりました。

また、不動産関連事業における組成用不動産が、26億円となりました。

証券事業に係る差入保証金及デリバティブ債権の増加等もあり、流動資産に含まれるその他の資産の合計が、21億円となりました。

負債合計

増資による調達資金を返済に充当したこと等から、流動負債の借入金・社債が減少し、61億円となりました。

証券事業に係る受入保証金及びデリバティブ債務の増加等もあり、流動負債に含まれるその他の負債の合計が、21億円となりました。

純資産合計

増資により資本金・資本剰余金が増加したこと等から、純資産が100億円となりました。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成26年6月に公募増資及び大和証券株式会社を割当先とする第三者割当増資を実施し、4,437百万円の払込みを頂きました。本増資による調達資金は、平成26年6月末までに、短期借入金の返済に充当いたしました。今後、本増資による財務基盤の強化を最大限活用し、資金調達能力の拡大を加速したうえで、タックス・リース・アレンジメント事業におけるオペレーティング・リース事業の組成金額の拡大及び不動産関連事業における案件組成の拡大を通じて、当社グループの業績拡大を図ってまいります。

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	(参考) (個別決算) 平成24年9月期 第3四半期	(連結決算) 平成25年9月期 第3四半期	(連結決算) 平成26年9月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	1,787	2,847	4,797	+ 1,949	+ 68.5%
売上原価	261	446	668	+ 222	+ 49.8%
販売費及び一般管理費	671	924	1,392	+ 467	+ 50.6%
営業利益	855	1,477	2,736	+ 1,259	+ 85.2%
営業外収益	75	43	222	+ 179	+416.4%
営業外費用	132	163	460	+ 296	+181.1%
経常利益	797	1,356	2,498	+ 1,141	+ 84.2%
四半期純利益	458	817	1,519	+ 702	+ 85.9%

リース事業組成金額	34,357	46,689	88,026	+41,337	+ 88.5%
出資金販売額	12,087	18,348	29,994	+11,646	+ 63.5%

(注1) 出資金販売額：オペレーティング・リース事業の匿名組合契約に基づく権利の販売額

(注2) 平成25年9月期第2四半期より連結財務諸表を作成しております。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、景気回復基調にあるものの、米国の金融緩和縮小による影響、新興国経済の減速懸念等もあり、先行きに不透明さも残っております。日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善等がみられ、景気は緩やかに回復しているものの、海外経済の減速、消費税率の引き上げの影響等の景気下振れ懸念もあり、先行きに不透明さも残っております。

このような状況のもと、当社グループは、平成25年9月期の決算短信に掲げました中期経営計画に従い、各種施策の実施に努めました。

特に、当第3四半期連結累計期間においては、今後、拡大が見込まれる航空機リース市場において、オペレーティング・リース事業の組成機会を確実にとらえ、成長していくために、航空機リースマネジメント会社であるAMENTUM CAPITAL LIMITED（以下、「AMENTUM社」といいます。）と、資本業務提携を行いました。

また、平成26年4月30日付で、投資運用業、投資助言・代理業の登録を行っている第一投資顧問株式会社（平成26年7月1日付で株式会社F P G投資顧問に商号変更いたしました。）を子会社化し、投資顧問業へ進出いたしました。

さらに、機動的な資金調達が可能となる、コミットメントライン契約及び当座貸越契約等の資金調達枠の総額を、前連結会計年度末の219.5億円から当第3四半期連結会計期間末で、405.0億円に増加させる等、資金調達力を向上させました。

売上高

(単位：百万円)

	平成25年 9 月期 第 3 四半期	平成26年 9 月期 第 3 四半期	増減額
売上高	2,847	4,797	+ 1,949
タックス・リース・ アレンジメント事業	2,690	4,326	+ 1,635
その他	157	471	+ 313

(タックス・リース・アレンジメント事業)

オペレーティング・リース事業の組成につきましては、組成サポートを行う関連会社 (FPG ASSET & INVESTMENT MANAGEMENT B.V. 及びその100%子会社であるFPG ASSET & INVESTMENT MANAGEMENT ASIA PTE.LTD. 並びにAMENTUM社) との連携推進、資金調達力の向上といった、組成能力の強化を図り、航空機を対象としたリース事業の組成に注力しつつ、積極的な組成を行った結果、関連会社の組成サポート案件が増加する等、組成金額は、88,026百万円 (前年同期比88.5%増) となりました。

出資金の販売につきましては、企業収益の改善、法人税率の引き下げ期待を背景に、業績好調な投資家からの出資金に対する需要が、強く推移しており、第4四半期連結会計期間に販売を見込んでいた出資金を前倒しで販売する等した結果、出資金販売額は、29,994百万円 (前年同期比63.5%増) となりました。

上記の結果、タックス・リース・アレンジメント事業の売上高は、4,326百万円 (前年同期比60.8%増) となりました。

(その他事業)

タックス・リース・アレンジメント事業以外のその他事業の売上高は、471百万円 (前年同期比199.5%増) となりました。このうち、保険仲立人事業の売上高は、187百万円 (前年同期比41.2%増)、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より事業を開始した不動産関連事業の売上高は、115百万円、証券事業の売上高は、145百万円となりました。

上記の結果、売上高は、4,797百万円 (前年同期比68.5%増) となりました。

売上原価

売上原価は、668百万円 (前年同期比49.8%増) となりました。

これは、主に、顧客紹介に係る手数料が増加したことによるものであります。

販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	平成25年9月期 第3四半期	平成26年9月期 第3四半期	増減額
販売費及び一般管理費	924	1,392	+ 467
人件費	497	652	+ 155
地代家賃	81	245	+ 163
その他	345	493	+ 148

販売費及び一般管理費は、1,392百万円（前年同期比50.6%増）となりました。

当社グループは、業容拡大に伴い、また、今後の業績拡大を図るため、人材の採用、拠点の拡充等を積極的に進めており、各種費用負担も増加しております。平成25年12月には、今後の業容拡大を見据え、本社オフィス(賃借)を移転し、執務面積の拡大等、本社機能を拡充しております。

上記の結果、人件費が、652百万円（前年同期比31.3%増）、地代家賃が、245百万円（前年同期比200.2%増）、その他の費用が、493百万円（前年同期比43.0%増）となりました。

(注) 人件費には、給料手当、賞与(引当金繰入額含む)、法定福利費、福利厚生費等の他、人材採用費を含めております。

営業利益

上記の結果、営業利益は、2,736百万円（前年同期比85.2%増）となりました。

営業外収益／営業外費用

(単位：百万円)

	平成25年9月期 第3四半期	平成26年9月期 第3四半期	増減額
営業外収益	43	222	+ 179
受取利息	34	158	+ 124
その他	9	63	+ 54
営業外費用	163	460	+ 296
支払利息	20	170	+ 150
支払手数料	135	238	+ 103
その他	8	51	+ 43

営業外収益は、主に投資家から收受している商品出資金の立替利息である受取利息158百万円（前年同期比366.3%増）、組成用不動産に係る不動産賃貸料55百万円等を計上したこと等により、222百万円（前年同期比416.4%増）となりました。

営業外費用は、資金調達枠の拡大を伴うコミットメントライン契約の締結により、その契約締結時に発生する費用が増加したことから、支払手数料238百万円（前年同期比76.0%増）を計上したこと、また、商品出資金取得のための資金調達の増加に伴い、支払利息170百万円（前年同期比749.7%増）を計上したこと等により、460百万円（前年同期比181.1%増）となりました。

経常利益／四半期純利益

上記の結果、経常利益は、2,498百万円（前年同期比84.2%増）、法人税等を控除した四半期純利益は1,519百万円（前年同期比85.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	平成25年 9月末	平成26年 6月末	増減額
資産合計	20,240	21,572	+ 1,332
流動資産	19,185	19,871	+ 686
（現金及び預金）	3,840	3,911	+ 71
（商品出資金）	13,436	11,237	▲ 2,198
（組成用不動産）	1,208	2,614	+ 1,406
（その他）	700	2,107	+ 1,407
固定資産	1,055	1,700	+ 645
負債合計	15,751	11,495	▲ 4,255
流動負債	15,355	10,062	▲ 5,293
（借入金・社債）	12,306	6,197	▲ 6,108
（前受金）	1,838	1,706	▲ 131
（その他）	1,210	2,157	+ 947
固定負債	395	1,433	+ 1,037
（借入金・社債）	330	1,270	+ 940
（その他）	65	163	+ 97
純資産合計	4,489	10,077	+ 5,587
自己資本比率	22.2%	46.7%	—

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、21,572百万円（前年度末比1,332百万円の増加）となりました。

このうち、流動資産は、19,871百万円（前年度末比686百万円の増加）となりました。これは、リース事業の組成を積極的に行った一方で、出資金の販売が進んだことから、商品出資金が11,237百万円（前年度末比2,198百万円の減少）となったこと、新規案件の組成もあり、組成用不動産が2,614百万円（前年度末比1,406百万円の増加）となったこと、現金及び預金が3,911百万円（前年度末比71百万円の増加）となったこと、さらに、上記以外の流動資産の合計額が、証券事業に係る差入保証金及びデリバティブ債権の増加等もあり、2,107百万円（前年度末比1,407百万円の増加）となったことによるものであります。

また、固定資産は、1,700百万円（前年度末比645百万円の増加）となりました。これは主に、AMENTUM社の株式取得（出資比率25%）等により、投資その他の資産が1,107百万円（前年度末比225百万円の増加）となり、新本社における内装設備の取得等により、有形固定資産が317百万円（前年度末比196百万円の増加）になったことによるものであります。

負債合計は、11,495百万円（前年度末比4,255百万円の減少）となりました。

このうち、流動負債は、10,062百万円（前年度末比5,293百万円の減少）となりました。これは、公募増資及び第三者割当増資の調達手取金を、借入金の返済に充当したこと等から、借入金・社債が6,197百万円（前年度末比6,108百万円の減少）となったこと、第4四半期連結会計期間以降に販売予定の商品出資金に係る手数料の前受金が1,706百万円（前年度末比131百万円の減少）となったこと、さらに、上記以外の流動負債の合計額が、証券事業に係る受入保証金及びデ

リバティブ債務の増加等もあり、2,157百万円(前年度末比947百万円の増加)となったことによるものであります。

純資産合計は、10,077百万円(前年度末比5,587百万円の増加)となりました。これは主に、四半期純利益の計上に加え、平成26年6月の公募増資及び第三者割当増資の実施等により、資本金が3,070百万円(前年度末比2,219百万円の増加)、資本剰余金が3,020百万円(前年度末比2,219百万円の増加)となったことによるものであります。

自己資本比率は、当第3四半期連結会計期間末時点で46.7%(前連結会計年度末は22.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

第3四半期連結累計期間の実績は、通期の予想と比べ、その進捗率が高くなっておりませんが、これは主に、第3四半期連結累計期間において、旺盛な投資家の需要に応えるべく、第4四半期連結会計期間に販売予定であった出資金を前倒して販売したことによるものであります。

(単位：百万円)

	平成26年9月期 第3四半期 連結累計期間	平成26年9月期 連結会計年度
	実績	予想
	平成25年10月1日～ 平成26年6月30日	平成25年10月1日～ 平成26年9月30日
売上高	4,797	5,653
営業利益	2,736	3,022
経常利益	2,498	2,778
四半期(当期)純利益	1,519	1,700
リース事業組成金額	88,026	158,610
出資金販売額	29,994	34,864

各四半期の売上高についての補足

当社グループの売上高の大半を占めるタックス・リース・アレンジメント事業において、当社の販売する出資金は、投資家が各リース事業案件の初回損益分配期日までに出資することにより投資効果が得られますが、投資家は自社決算の趨勢が判明する決算月に近い時期に投資を決定する傾向があります。国内法人の傾向として、3月決算もしくは9月決算が多いため、当社が出資金を販売する時期も、3月もしくは9月が多くなり、結果として、当社グループの売上高は、第2四半期(1月から3月)及び第4四半期(7月から9月)に偏重する傾向があります。ただし、販売状況、リース事業案件の初回損益分配時期等、様々な要因により、上記の通りにならない場合があります。

当第3四半期連結累計期間においては、旺盛な投資家の需要に応えるべく、第4四半期連結会計期間に販売予定であった出資金を前倒して販売したこと等から、当連結会計年度においては、現時点では、第4四半期(7月から9月)よりも、第3四半期(4月から6月)に偏重すると予想しております。

(参考) 各四半期ごとの売上高推移

(単位：百万円)

	平成23年9月期		平成24年9月期		平成25年9月期		平成26年9月期	
	売上高	出資金 販売額	売上高	出資金 販売額	売上高	出資金 販売額	売上高	出資金 販売額
第1四半期 (10月1日～12月31日)	712	5,088	343	2,346	1,297	7,278	1,149	5,529
第2四半期 (1月1日～3月31日)	553	3,298	999	6,612	814	5,397	1,944	12,125
第3四半期 (4月1日～6月30日)	207	1,279	445	3,128	736	5,672	1,702	12,339
第4四半期 (7月1日～9月30日)	519	3,739	1,014	7,697	1,164	7,268		
年間合計 (10月1日～9月30日)	1,992	13,407	2,802	19,785	4,012	25,617	5,653	34,864

(注) 平成25年9月期第2四半期以降は、(四半期)連結財務諸表の作成開始に伴い、連結ベースでの金額となります。また売上高には、タックス・リース・アレンジメント事業以外のその他事業の売上高を含めております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年4月30日付で、第一投資顧問株式会社（平成26年7月1日付で、株式会社F P G投資顧問に商号変更しております。）の全株式を取得し、同社を、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 9 月30日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成26年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,840,392	3,911,646
売掛金	35,495	45,818
貯蔵品	1,750	2,114
商品出資金	13,436,096	11,237,415
組成用不動産	1,208,886	2,614,979
繰延税金資産	353,840	327,884
その他	309,201	1,732,123
流動資産合計	19,185,664	19,871,982
固定資産		
有形固定資産	120,454	317,039
無形固定資産	52,341	276,040
投資その他の資産		
繰延税金資産	33,540	35,459
その他	848,695	1,072,305
投資その他の資産合計	882,236	1,107,764
固定資産合計	1,055,032	1,700,845
資産合計	20,240,696	21,572,828
負債の部		
流動負債		
買掛金	148,353	174,998
短期借入金	12,086,400	5,227,900
1年内返済予定の長期借入金	200,000	800,000
1年内償還予定の社債	20,000	170,000
未払法人税等	646,633	513,018
前受金	1,838,292	1,706,410
賞与引当金	71,142	35,106
資産除去債務	26,081	—
その他	318,416	1,434,852
流動負債合計	15,355,319	10,062,285
固定負債		
社債	30,000	820,000
長期借入金	300,000	450,000
資産除去債務	17,484	73,772
その他	48,398	89,514
固定負債合計	395,882	1,433,287
負債合計	15,751,202	11,495,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	851,750	3,070,890
資本剰余金	801,750	3,020,890
利益剰余金	2,833,899	3,972,211
自己株式	△310	△358
株主資本合計	4,487,089	10,063,632
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,404	13,622
その他の包括利益累計額合計	2,404	13,622
純資産合計	4,489,494	10,077,255
負債純資産合計	20,240,696	21,572,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,847,908	4,797,313
売上原価	446,213	668,601
売上総利益	2,401,694	4,128,712
販売費及び一般管理費	924,516	1,392,256
営業利益	1,477,177	2,736,455
営業外収益		
受取利息	34,070	158,869
為替差益	8,068	—
不動産賃貸料	—	55,224
持分法による投資利益	—	7,645
その他	985	971
営業外収益合計	43,125	222,711
営業外費用		
支払利息	20,082	170,635
社債発行費	—	13,879
株式交付費	2,319	26,323
為替差損	—	2,000
支払手数料	135,743	238,868
持分法による投資損失	5,830	—
不動産賃貸費用	—	8,327
その他	—	827
営業外費用合計	163,975	460,863
経常利益	1,356,327	2,498,303
特別利益		
固定資産売却益	—	56
特別利益合計	—	56
特別損失		
関係会社株式評価損	198	345
関係会社出資金評価損	—	1,889
固定資産除却損	422	2,506
特別損失合計	621	4,742
税金等調整前四半期純利益	1,355,706	2,493,617
法人税、住民税及び事業税	447,617	949,626
法人税等調整額	90,565	24,037
法人税等合計	538,182	973,664
少数株主損益調整前四半期純利益	817,523	1,519,953
四半期純利益	817,523	1,519,953

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成25年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年10月 1 日 至 平成26年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	817, 523	1, 519, 953
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	2, 149	11, 217
その他の包括利益合計	2, 149	11, 217
四半期包括利益	819, 673	1, 531, 170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	819, 673	1, 531, 170
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年 6 月16日を払込期日とする公募増資及び平成26年 6 月25日を払込期日とする第三者割当増資を実施いたしました。この結果、当第 3 四半期連結会計期間において資本金が2, 218, 528千円、資本剰余金が2, 218, 528千円増加し、当第 3 四半期連結会計期間末において、資本金が3, 070, 890千円、資本剰余金が3, 020, 890千円となっております。